

広島港ふ頭再編改良事業（宇品地区）

【広島港ふ頭再編改良事業の目的】

広島港宇品地区において、自動車運搬船の大型化や完成自動車の輸出増大に早期に対応するため、既存ストックを有効活用したふ頭再編を行うことで、完成自動車、自動車部品及びRORO貨物の効率的な海上輸送を実現し、地域基幹産業の国際競争力の維持・強化を図る。また、耐震改良を行うことで、大規模地震発生時の緊急物資輸送を可能にする。

【事業計画】

整備内容：岸壁（水深12m）（改良）、航路（水深12m）、
航路・泊地（水深12m）、泊地（水深12m）、
ふ頭用地



広島港における完成自動車の輸出状況

広島港老朽化対策事業（海田地区）

【広島港老朽化対策事業の目的】

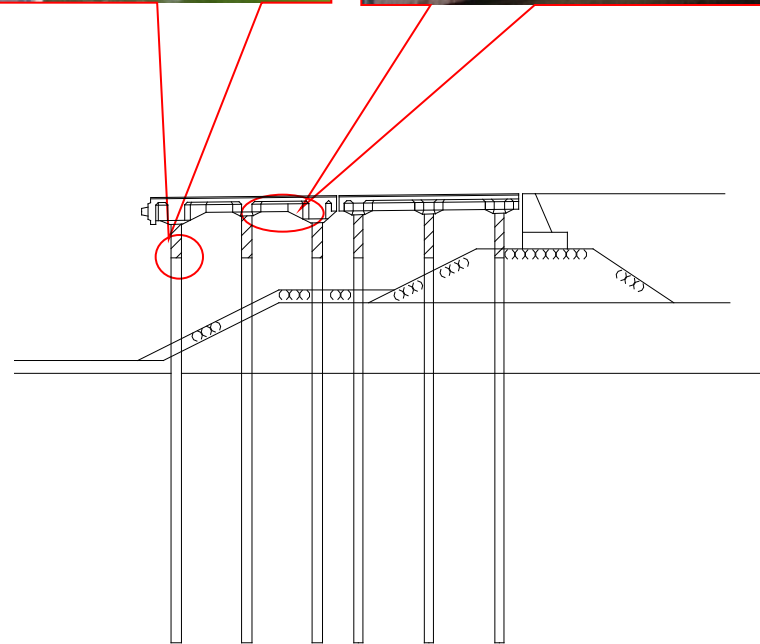
広島港海田地区コンテナターミナルの岸壁(水深7.5m)は、1984(昭和59)年供用から約30年間、自動車部品等を高頻度に取り扱っており、老朽化が進んでいることから、老朽化対策事業により施設の延命化を図る。

【事業計画】

整備内容: 岸壁(水深7.5m)(改良)



コンテナ貨物取扱状況



岸壁(水深7.5m) 既設断面図